

広報



特集 私たちの地域創生

## 極上の酒を生む黄金の実り

町の暮らしや文化、歴史、産業などを学ぶ「おらだのまち探訪」が、9月30日におこなわれました。この日は、町産の焼酎「舟唄の里」にスポットを当て、楢山地区で酒米を作っている鈴木一郎さんの水田で稲刈りを体験。町内外から参加した皆さんは、初めて経験する鎌での稲刈り作業に夢中になり、黄金色に実った稲を次々に刈り取っていました。



平成29年

10

No. 680





# 私たちの地域創生

## ～知事と若者の地域創生ミーティング～

吉村美栄子知事と町内の若者たちが地域の元気創出策などについて語り合う「知事と若者の地域創生ミーティング」が、9月22日に中央公民館「ぷくらす」でおこなわれました。

吉村知事、渡邊町長とともに町のこれからについて語り合ったのは、各分野で活躍している町内在住の20代から40代の10名の皆さん。農業、商工業、飲食業、介護、子育てなどさまざまな立場から、そして地元生まれと移住者のそれぞれの観点から、幅広く力強いアイデアが数多く提案されました。若者たちの目に映る、町の今と未来の姿。ビジョンを見据えて場に臨んだメンバーによる、活気に満ちたミーティングの様をお伝えします。





「OE REPOWER PROJECT」代表  
大沼兄昌さん(13区)

本町出身。仙台市内でWebデザイナーとして勤務した後、本町で「Cakes Design Office」を立ち上げる。「SHAKE LAB」の運営をはじめ、町の魅力の発掘とPRのために活動中。



地域おこし協力隊  
野木桃子さん(沢口)

福島県出身。介護保険施設で管理栄養士として働いた後、平成27年に地域おこし協力隊員として本町に移住。里山の自然や伝統を生かした生業づくりを探究中。



吉村美栄子山形県知事

## 若者たちのユメとイマ

これまで「知事と語ろう市町村ミートイニング」と題し、県内各市町村を訪問して、地域住民の皆さんと直接意見交換をおこなってきた吉村知事。今回は、15歳から45歳までの若い世代の皆さんと車座になって意見交換する「知事と若者の地域創生ミートイニング」という形で本町を訪れ、渡邊町長の進行によりミートイニングはスタートしました。

冒頭で吉村知事は「若い人たちが自分の地域をどうしていきたいか、どうなつてほしいかをお聞きしたいです。地域の中心になる皆さんの意欲、夢や希望、悩みも含めて、遠慮なく話を聞かせてください」と、この企画についての思いを語りました。

## 魅力発掘と発信・継承

地域おこし協力隊員の野木桃子さんは、里山の食文化の継承と普及を軸とした活動を続けています。今年は山里交流館で、野山の植物を用いた料理を提供する予定です。「今後とも沢口に住み続けて、季節を感じながら地域の人と一緒に楽しく過ごしていきたいです。里山の中で地域の

皆さんとともに生きていく『ナリワイ』を見つけてようとしていて、その試みのひとつが『やまさあーべ』でオープン予定の食堂なんです」

大沼兄昌さんは、本町と仙台市を往復してデザインの仕事をこなす傍ら、町内の魅力を発信する活動を続けています。「こんなにすごいものが眠っているんだということを町内外の皆さんに知ってほしくて『SHAKE LAB』を企画しました」と、自らの活動について語りました。

茨城県から移住し、空き家をリノベーションして「ノカタチ食堂」をオープンした二戸勝也さん。旧きりやか銀行大江支店を活用した町おこしを考える取り組みに参加しています。「町の自然や伝統文化に触れながら暮らしていくうちに、そうしたものを将来に残していきたいと思うようになりました。若い人がもつとこの町に定住して、それぞれの生業ができるようになれば」と、その思いを話しました。

## 生き残るための戦略を

町内の商工業の見直しについて、自営業を継承している皆さんからさまざまな意見が出されました。東京



商工会青年部  
大泉洋一さん(8区)

本町出身。東京でアパレル店に就職するも、実家の花店を継ぐ決意をして専門学校へ入学。都内の百貨店の花店に勤務した後、3年前に本町へ戻って実家の花店で働く。



を結び隊  
鴨田直樹さん(4区)

本町出身。高校卒業後上京してジュエリーについて学び、2年前から家業の宝石店で働く。「を結び隊」代表として、婚活イベントの企画運営にも携わる。



「まちづくり交流会」メンバー  
二戸勝也さん(藤田)

茨城県出身。2年前、家族とともに本町へ移住し空き家を利用して「ノカタチ食堂」をオープン。旧きりやか銀行利活用を考える「まちづくり交流会」に参加。





新規就農者  
菊地大道さん(梨木原)

本町出身。新庄市の県立農業大学校へ進学し、卒業後に就農。両親とともに農業に携わって2年目となる。町内各地で農作業の受託もおこなっている。



就農研修生  
柏原千乃さん(深沢)

神奈川県出身。昨年、「OS INの会」新規就農研修生として本町に移住。来年の独立就農に向け、現在は深沢地区の農家のもとで研修に励む。



平成29年度成人式実行委員会委員長  
菊地章人さん(藤田)

本町出身。家業である造園業を継ぐため、千葉県内の短期大学へ進学。今年4月から祖父、父とともに造園業を営む。

## 若い力で農業を守ろう

就農を志し、昨年神奈川県から本

での就職を経て2年前から家業の宝石店で働く鴨田直樹さんは、宝石の市場が縮小しているという現状を踏まえ、「町内で宝石店を経営して生き残っていくためには、他とは違う何かに特化することが必要です。『大江町へ来る価値はあるぞ』ということをアピールしていかないと」と、商店経営のこれからについて分析します。

鴨田さんと同じく、東京から戻って家族とともに花店を営んでいる大泉洋一さん。「花を作っている農家の方など、関係する皆さんと協力してPRなどに取り組んでいきたいです」と、業界全体としてのブランド力の強化を目指しています。

今年成人式を迎えた菊地章人さんは、祖父、父と3人で造園業を営んでいます。「20代で造園業に携わっているのは、町内では私くらいだと思います。汚れる仕事だというイメージが強いですが、インターネットなどで若い人にも造園という仕事について知ってもらいたいですね」と、意欲を燃やしていました。

## いっしょに育む未来の希望

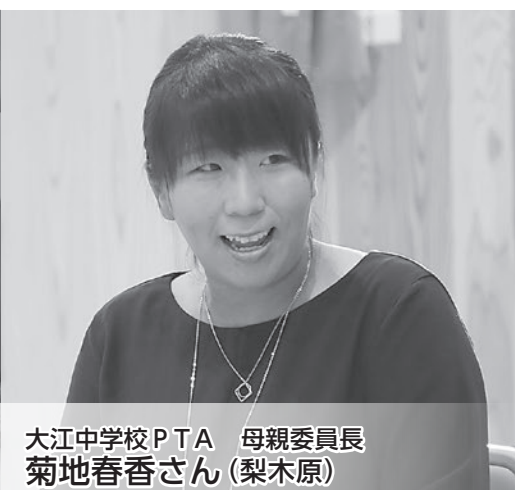
理学療法士の本田恵介さんは、奥さんの出身地である大江町を何度も訪れるうち、やがて移住を決意。そ

町へ移住した柏原千乃さん。農業の魅力については「種や苗を植えて、大きくなって花が咲いて実がついて……という、作物の成長過程が見られるところ」と語ります。

一方、昨年から両親とともに農業を営んでいる菊地大道さんは「町内では若い農家がほとんどいない現状です。町内の田畑を管理する人がどんどんいなくなり、このままでは将来的には農地を維持できなくなるのでは」と、地元農業の課題を指摘。

そのうえで「仕事が休みの日に若い人たちが集まって農業ができる、そんな場を将来つくっていきたいです」と、展望を語りました。

また大道さんは、町内の中山間地での農業の難しさにも言及。これに對して吉村知事も、「中山間地の農業は全国的な課題。6割が中山間地農業である本県にとっても大きな課題です。付加価値の高い農産物を作るなど、対策を考えていきたい」と話しました。



大江中学校PTA 母親委員長  
菊地春香さん(梨木原)

新潟県出身。山形県内で進学、就職、結婚し、本町へ移住。現在は民間立保育園の園長を務めながら、自らも母として子育ての真っ最中。



理学療法士  
本田恵介さん(藤田)

広島県出身。東京都内での進学、神奈川県での就職を経て、昨年、妻の実家のある本町へ家族とともに移住。現在、寒河江市内の介護保険施設に勤務。



渡邊兵吾町長(進行役)





の理由について「私の長男は病気がちだったんですが、夏休みなどに大江町に来ると決まって体調が良かったんです。子どものためにも環境の良いところで暮らそうと、思い切った移住することに決めました」と話しました。

民間立保育園で園長として保育の現場の真ただ中にいる菊地春香さん。自身も中学生の子どもを育てる親として、子育ての現状と将来の課題に触れます。「保育環境がどんどん整ってきていますが、一番大事なのは親と子どもと一緒に過ごす時間です。例えば中学生、高校生などにボランティア活動をしてもらい、子どもと触れ合うことの素晴らしさを体感してもらえたらと思います」

お二人ともに「子どもの成長のために、まず大人が手本にならないといけない」と、強い思いを語っていました。

## コラボが新たな原動力

ミーティングの中で、異なる業種の人々が互いに連携し合う可能性についてもさまざまな意見が出されました。大泉さんは、二戸さんの食堂で花のレッスンを開催するなど、す

でに連携の取り組みを始めているとのこと。また鴨田さんは、農産物をおしゃれな入れ物に入れてお客さんに届けているという農家の方の話を紹介。こうした話を聞いた大道さんは「作業着もプロの方にかっこよくデザインしてもらおうといいかもしれませぬ。デザイナーに花屋さん、子どもやお年寄り、いろんな人が参加すると農業も良くなっていけますね」と、展望が開けたようでした。

吉村知事も共感し、「農産物と鴨田さんの宝石、大泉さんの花が一緒になったイベントなども考えられませぬ。食べ物皆さんが興味を持ちますから、農産物と一緒にいろいろなことをやるというのはすごく良いと思います」とアイデアを提示しました。

「何度も顔を合わせることで、お互いの人となりもわかり連携もスムーズになります。こういった場をどう継続していくかが課題ですね」と語ったのは、旧きらやか銀行店舗を利用してまさに「連携」の場を生み出そうとしている二戸さん。その言葉通り、この日のミーティングがきっかけとなって、若者が中心となった大きな連携の輪が出来上がることが期待されます。

この日、本町を訪れた吉村知事は、町内の施設や団体を訪問し、視察や交流をおこないました。



ほのぼの訪問  
(創作和紙人形 葵の会おおえ)



いきいき企業訪問  
(株式会社小堀製作所)



朝日少年自然の家訪問



# ●●各会計の決算状況●●

平成28年度

# 決算報告

## 一般会計

歳入総額		58億1,154万円		歳出総額		55億5,999万円	
町税	7億7,780万円	議会費	8,605万円	総務費	10億4,180万円	民生費	13億2,961万円
町税の内訳		衛生費	2億400万円	労働費	924万円	農林水産業費	4億4,546万円
固定資産税	3億5,602万円	土木費	5億8,979万円	農林水産業費	4億4,546万円	商工費	8,500万円
町民税	3億3,133万円	消防費	5億3,538万円	商工費	8,500万円	土木費	5億8,979万円
町たばこ税	4,394万円	教育費	7億6,889万円	土木費	5億8,979万円	消防費	5億3,538万円
軽自動車税	2,799万円	災害復旧費	6,543万円	消防費	5億3,538万円	教育費	7億6,889万円
都市計画税	1,809万円	公債費	4億2,966万円	教育費	7億6,889万円	災害復旧費	6,543万円
入湯税	43万円	諸支出金	730万円	災害復旧費	6,543万円	公債費	4億2,966万円
地方譲与税	5,721万円			公債費	4億2,966万円	諸支出金	730万円
利子割交付金	106万円						
配当割交付金	168万円						
株式等譲渡所得割交付金	86万円						
地方消費税交付金	1億3,494万円						
自動車取得税交付金	1,198万円						
地方特例交付金	281万円						
地方交付税	22億7,243万円						
交通安全対策特別交付金	114万円						
分担金及び負担金	505万円						
使用料及び手数料	7,408万円						
国庫支出金	4億4,420万円						
県支出金	3億6,370万円						
財産収入	1,048万円						
寄附金	5,925万円						
繰入金	4億1,483万円						
繰越金	2億9,139万円						
諸収入	4,055万円						
町債	8億4,610万円						

## 町の財産状況

土地	1,489,097㎡
建物(延床面積)	59,810㎡
道路(町道)・橋りょうの延長	209,523m
車輛	81台
有価証券など	7,240万円
積立金(基金)	22億2,230万円
温泉権(4件)	3億4,693万円

※すべての会計の合計。車輛には除雪車や消防自動車、小型動力ポンプなども含まれます。

## 特別会計

歳入総額		25億1,471万円		歳出総額		23億7,216万円	
国民健康保険特別会計	10億2,468万円	国民健康保険特別会計	9億4,800万円	後期高齢者医療特別会計	9,755万円	後期高齢者医療特別会計	9,755万円
後期高齢者医療特別会計	9,988万円	介護保険特別会計	9億9,755万円	介護保険特別会計	9億9,755万円	宅地造成事業特別会計	3,568万円
介護保険特別会計	10億3,914万円	宅地造成事業特別会計	4,796万円	宅地造成事業特別会計	3,568万円	公共下水道事業特別会計	2億5,018万円
宅地造成事業特別会計	4,796万円	公共下水道事業特別会計	2億5,806万円	公共下水道事業特別会計	2億5,018万円	農業集落排水事業特別会計	4,320万円
公共下水道事業特別会計	2億5,806万円	農業集落排水事業特別会計	4,499万円	農業集落排水事業特別会計	4,320万円		
農業集落排水事業特別会計	4,499万円						

## 水道事業会計

収入総額		3億46万円		支出総額		3億4,739万円	
収益的収入	2億3,545万円	収益的支出	2億3,440万円	資本的収入	6,501万円	資本的支出	1億1,299万円
資本的収入	6,501万円						

※資本的収支の不足額については、当年度消費税資本的収支調整額、当年度損益勘定留保資金で補てん

## 一般会計の主な増減

単位：万円、%

歳入総額	平成28年度	平成27年度	増減額	増減率	歳出総額 (性質別)	平成28年度	平成27年度	増減額	増減率
	58億1,154	61億7,087	△3億5,933	△5.8		55億5,999	58億7,947	△3億1,948	△5.4
町税	7億7,780	7億6,981	799	1.0	人件費	8億8,602	8億7,606	996	1.1
地方交付税	22億7,243	23億6,824	△9,581	△4.0	扶助費	5億3,140	4億9,258	3,882	7.9
国庫支出金	4億4,420	6億4,626	△2億206	△31.3	補助費等	5億5,413	5億4,156	1,257	2.3
県支出金	3億6,370	4億3,512	△7,142	△16.4	公債費	4億2,966	4億4,984	△2,018	△4.5
繰入金	4億1,483	3億2,067	9,416	29.4	繰入金	5億9,898	5億8,900	998	1.7
町債	8億4,610	9億7,450	△1億2,840	△13.2	普通建設事業費	13億7,566	15億2,335	△1億4,769	△9.7

決算規模は、歳入が58億1,154万円(5.8%の減)、歳出は、55億5,999万円(5.4%の減)となりました。前年度比較で減となった主な要因は、歳入は町税が増加した一方で、国庫支出金や町債が減少したため、全体では減となっています。また、歳出は中央公民館改築事業や防災行政無線整備事業などの完了により普通建設事業費が減少したことが要因となっています。

平成28年度の一般会計と各特別会計の決算が9月定例議会で認定されました。一般会計と6つの特別会計の総額は、歳入が83億2,624万6,725円、歳出が79億3,214万9,066円となりました。その概要をお知らせします。



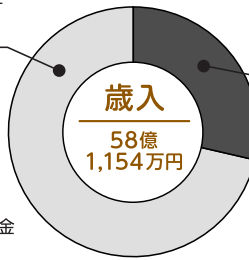
# 収支決算（一般会計）

## 依存財源

国・県から交付されたり、  
借り入れたりしたお金

**71.2%**

- 41億3,810万円
- 地方交付税
- 国庫支出金
- 町債●県支出金
- 地方譲与税
- 地方消費税交付金
- 自動車取得税交付金
- 地方特例交付金
- 利子割交付金
- 交通安全対策特別交付金
- 配当割交付金●株式等譲渡所得割交付金



## 自主財源

町が自主的に  
収入できるお金

**28.8%**

- 16億7,344万円
- 町税
- 繰入金●繰越金
- 使用料及び手数料
- 諸収入●財産収入
- 寄附金
- 分担金及び負担金

## その他の経費

**40.8%**

- 22億7,006万円
- 補助費等●物件費
- 維持補修費●繰出金
- 積立金●その他

## 投資的経費

建設工事などに  
使ったお金

**26.8%**

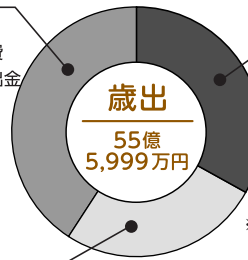
- 14億4,285万円
- 普通建設事業費●災害復旧事業費

## 義務的経費

支出が義務付けられて  
いるお金

**33.2%**

- 18億4,708万円
- 人件費
- 扶助費
- 公債費



※引上げ分の地方消費税に係る6,078万円については、社会保障施策に要する経費15億6,684万円に係る一般財源9億6,753万円に充当しました。

### 主な財政指標の推移（一般会計決算に基づくもの）

区 分	26年度	27年度	28年度
財政力指数	0.27	0.27	0.27
経常収支比率	85.6%	78.8%	81.4%
公債費負担比率	14.8%	10.9%	10.8%

※**財政力指数**とは、地方交付税法の規定により算定した基準財政収入額を基準財政需要額で割って得た数値の過去3か年平均値です。自治体の財政力を示す指数として用いられ、数値が大きければ大きいほど財政的に豊かであるといえます。

※**経常収支比率**とは、町税や普通交付税などの用途を特定されない経常的な一般財源収入に対して、人件費や公債費といった毎年必ず出ていく経常的に支出されるお金の割合がどのくらいになっているかを示す値です。この値が大きくなればなるほど自由に使えるお金が少ないということになります。

※**公債費負担比率**とは、公債費に充当した一般財源が、一般財源総額に対してどの程度の割合になっているかを示す指標です。この値が大きくなると、一般財源の使い道が制約されていることとなります。

### 一般会計の町債（借入金）残高の推移

単位：万円

区 分	26年度末	27年度末	28年度末
発行（借入）額	5億1,910	9億7,450	8億4,610
元金償還（返済）額	5億4,110	4億699	3億9,350
年度末残高	46億3,130	51億9,881	56億5,141

### 各特別会計の町債（借入金）残高の推移

単位：万円

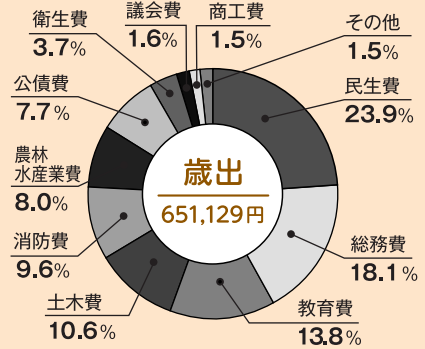
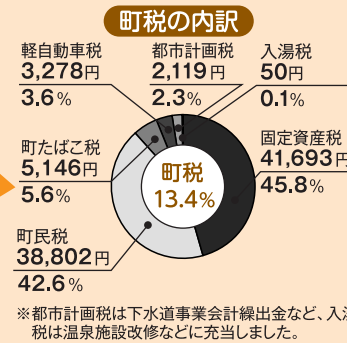
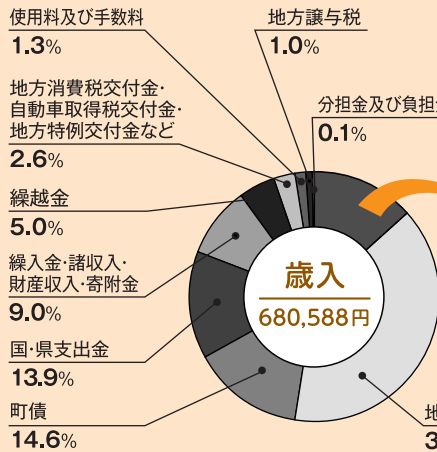
会計区分	26年度末	27年度末	28年度末
簡易水道事業特別会計	187	3,690	0
公共下水道事業特別会計	21億3,613	20億5,566	19億3,923
農業集落排水事業特別会計	2億7,652	2億6,049	2億4,413
水道事業会計	7億2,178	7億4,624	8億117
合 計	31億3,630	30億9,929	29億8,453

※簡易水道事業特別会計は、平成28年度から水道事業会計と統合したことにより平成27年度末に廃止となりました。

## 町民一人あたりの歳入と歳出

町の人口 / 8,539人

(平成29年3月31日現在・住民基本台帳人口)



歳 入	680,588円
町税	91,088円
地方交付税	266,124円
町債	99,087円
国・県支出金	94,613円
繰入金・諸収入・財産収入・寄附金	61,496円
繰越金	34,124円
地方消費税交付金・自動車取得税交付金など	18,090円
使用料及び手数料	8,675円
地方譲与税	6,700円
分担金及び負担金	591円
<b>町民一人あたりの町債残高（一般会計）</b>	<b>661,835円</b>

歳 出	651,129円
民生費	155,710円
総務費	117,599円
教育費	90,045円
土木費	69,070円
消防費	62,698円
農林水産業費	52,168円
公債費	50,317円
衛生費	23,891円
議会費	10,077円
商工費	9,954円
その他	9,600円



# の算定結果を報告します

## ◆実質赤字比率

※ 実質赤字額の標準財政規模に対する割合	本町	早期健全化基準	財政再生基準	(参考) 平成27年度
	黒字	15.0%	20.0%	黒字

実質赤字額とは、支出を翌年度に繰り延べたり、翌年度の歳入を繰り上げて使ったりした額のことです。平成28年度は、186,742千円の黒字決算となりました。

## ◆連結実質赤字比率

連結実質赤字額の標準財政規模に対する割合	本町	早期健全化基準	財政再生基準	(参考) 平成27年度
	黒字	20.0%	30.0%	黒字

連結実質赤字額とは、一般会計や特別会計など町のすべての会計の実質赤字額（資金不足額）のことです。平成28年度は、いずれの会計とも赤字額が生じておらず、合計で677,735千円の黒字決算となりました。

## ◆実質公債費比率

実質公債費の標準財政規模に対する割合	本町	県内市町村平均	早期健全化基準	財政再生基準	(参考) 平成27年度
	4.5%	9.0%	25.0%	35.0%	6.2%

実質公債費とは、町（一般会計等）が負担する公債費と補助金等を分割で負担するなどの債務負担行為などの公債費に準ずる支出のことです。比率は3か年の平均により算出しますが、内訳は、平成26年度…5.71246%、平成27年度…4.16284%、平成28年度…3.72753%となっています。

## ◆将来負担比率

将来負担額の標準財政規模に対する割合	本町	県内市町村平均	早期健全化基準	財政再生基準	(参考) 平成27年度
	38.6%	62.8%	350.0%		51.7%

将来負担額とは、町（一般会計等）が将来にわたって負担すべき、町債、債務負担行為などのことです。また、町の貯金である基金などは、この負債から控除して計算されます。具体的な計算は、以下のとおりです。実質的な負債となる額8,932,609千円(A)、充当可能財源7,908,387千円(B)、標準財政規模(C)※、平成28年度の算入公債費等の額491,220千円(D)  $(A-B) \div (C-D) = 51.7\%$

※…標準財政規模とは、税収、地方譲与税、普通交付税などの用途を特定されない収入（一般財源）の標準とされる額で、平成28年度は、3,142,948千円となっています。

地方自治体財政の早期健全化や公営企業の経営健全化を図るため「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」により、「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」「実質公債費比率」「将来負担比率」の4つの健全化判断比率と、公営企業ごとの資金不足比率の算定と公表が義務付けられています。

このたび、平成28年度の算定をおこなったところ、指標はすべて基準を下回り、町の財政は健全性を確保できていることがわかりました。今回は、その概要をお知らせします。（より詳しい内容は、町ホームページで公表しています。）

# 議会

town council

## 9月定例会

大江町議会第3回定例会が、9月7日から15日までの会期で開かれました。

今定例会では、菊地勝秀副議長が9月6日をもって同職を辞職したことに伴い、副議長選挙がおこなわれました。その結果、伊藤慎一郎氏が後任の副議長に選出されました。また、平成28年度一般会計決算をはじめ、各会計の補正予算や人事案件などが審議され、原案どおり可決・承認されました。

そのほか、9月15日朝の北朝鮮からのミサイル発射を受けて、渡邊町長より報告がありました。その内容の一部を紹介いたします。

### 行政報告

9月15日6時57分ごろ、北

朝鮮西岸からミサイルが東北地方の方向に発射されたことに関連して、町内の状況と対応について報告します。

7時ごろ、町民の皆さんへ発射と避難を呼びかけるJアラートからの情報を放送し、総務課担当職員が登庁、情報収集にあたりました。その後、7時7分ごろミサイルの通過情報を受信、同じく町民へ防災行政無線による情報伝達をおこないました。

避難者対応として役場庁舎西口玄関を開放し受け入れ体制を取りましたが、幸い町内における被害や落下物の情報はありませんでした。

度重なる北朝鮮の行為は大きな脅威となっており、町では今後とも的確な情報収集と情報伝達に努めていきます。

### 人事案件

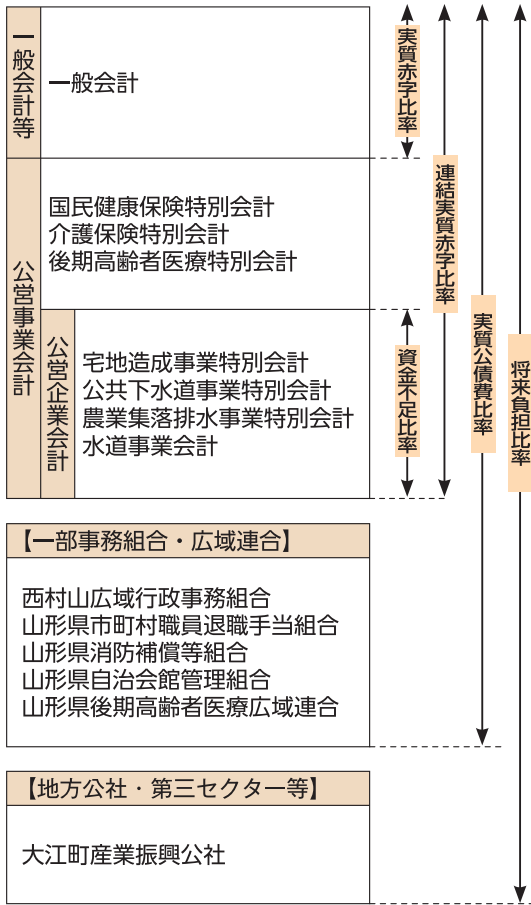
○大江町監査委員の任期満了に伴い、安藤宏氏が再任されました。任期は平成33年10月までとなります。

○大江町監査委員（議員選出）の結城岩太郎氏の辞職に



# 平成 28 年度 財政健全化判断比率等

## 財政健全化判断比率等の対象範囲



## ◆資金不足比率

公営企業会計の名称	本町	経営健全化基準	事業規模(千円)
水道事業会計	—	20.0%	215,507
公共下水道事業特別会計	—	20.0%	53,318
農業集落排水事業特別会計	—	20.0%	6,437
宅地造成事業特別会計	—	20.0%	21,539

資金不足比率とは、公営企業ごとの資金の不足額が事業の規模に対してどの程度あるかを示すものです。平成28年度は、いずれの会計ともに資金不足額が生じていません。

## ●●財政健全化法とは●●

財政健全化法とは、地方公共団体の財政破たんを未然に防ぐため、健全化判断比率により財政状況を把握し、悪化した団体に対して早期健全化を促すための法律です。これらの指標の基準には、外部監査などが義務付けられる「早期健全化基準」と破綻状態と見なされ事実上国の管理下に置かれる「財政再生基準」の2段階があり、いずれかの基準を超過すると、財政健全化計画または財政再生計画の策定などにより健全化を目指すこととなります。また、資金不足比率についても、早期健全化のレベルにあたる「経営健全化基準」に抵触すると、経営健全化計画の策定などの制約が加わるようになります。

## ●●大江町の指標のポイント●●

実質公債費比率は、平成28年度の元利償還金（地方債の借入金の返済金）が減少したことなどにより、前年度より1.7ポイントの改善となりました。

また、将来負担比率は、将来充当可能財源として見込める普通交付税算入見込額が増となったことなどにより、前年度より13.1ポイントの改善となりました。今回の算定では、いずれの指標とも改善傾向を示す結果となりましたが、町では今後も地方債の発行にあたっては慎重に進めながら財政の健全化に努めていきます。

## 補正予算

平成29年度一般会計補正予算（第2号）が原案どおり可決され、歳入歳出にそれぞれ1億8100万円を追加し、総額は52億8730万円となりました。

主な歳出予算は、総務費として、寄附謝礼などのふるさとまちづくり寄附関連費用、藤田住宅団地などへの入居者

伴い、毛利登志浩氏が後任の委員に選出されました。

○固定資産評価審査委員会委員の任期満了に伴い、清野千代吉氏が再任されました。任期は平成32年9月までとなります。



▲残り1区画となった藤田住宅団地

増加に伴う入居特典の追加など、1億3489万円。

民生費として、統合後の町立保育所の運営主体となる予定の社会福祉法人の設立費用など、3862万円。

農林水産業費として、柳川温泉施設の修繕料や、雪害対策、山菜栽培促進、新規就農者支援といった各種補助金など、213万円。

土木費については、繰出金の減額などにより834万円の減額となっています。

消防費として、ポンプ庫の修繕料や消火栓の新設、日本赤十字社からの交付金を受け、のり赤車両購入費用など、632万円。

教育費として、本郷東小学校グラウンドの遊具設置費用や、ふれあい会館の公衆無線LAN設置費用などを追加しましたが、人件費の減額などにより、全体としては559万円の減額となっています。

災害復旧費として、7月上旬の豪雨で被害を受けた町道海二俣線の災害復旧費など、988万円となっています。



# 大江の秋まつり



深沢獅子踊



左沢十三区奴

「ハレ」を呼び込む  
ワッショイ!!ワッショイ!!



9区尚和会神輿

各地域の伝統芸能が集う「大江の秋まつり」が、9月17日に開催されました。JR左沢駅前でおこなわれたパレードには、10団体が参加。豪華な囃子屋台や神輿のほか、優雅な、そしてエネルギーギッシュな芸能などが顔をそろえ、会場は大いに湧きました。



御免町囃子座





柏風会神輿



MOVERヒップホップダンス



おかみさんソーラン愛好会



左沢獅子舞



8区女相撲甚句



藤田若宮八幡神社神輿



7区囃子屋台



# 1 ■あらゆる災害に地域一丸となって立ち向かう ～大江町総合防災訓練～

日頃からの防災意識を高め、災害発生時に防災関係機関と地域住民が連携して迅速な応急対策をおこなうための総合防災訓練が、10月1日に県立楯岡特別支援学校大江校（旧三郷小学校）で実施されました。

今年度の防災訓練は、消防団第2分団管轄地域の一部である深沢、伏熊、用の3地区を対象とし、地区民や消防関係者など210人が参加。初期消火訓練や水防訓練、炊き出し訓練などをおこないました。

また、今回は防災行政無線子局のサイレンや、起震車などの体験コーナーも取り入れられ、参加した皆さんはより臨場感のある環境で訓練に臨んでいました。



▲昨年に引き続き実施された水防訓練



▲消火器を使った初期消火訓練



▲非常食での炊き出し訓練



▲起震車で震度6強の揺れを体験する皆さん

# 2 ■大江のすももは東京でも大好評！ ～すももトップセールス～

J Aさがえ西村山と町による町産すもものトップセールスが、9月16日に東京都内の東京青果卸売場でおこなわれました。今回のトップセールスには、渡邊町長、J Aさがえ西村山の柴田清志組合長、すもも部会長の渡辺誠一さん（塩野平）などが参加。「サンローゼス」「光李」「サンルージュ」の詰め合わせセットを来場者に配布するなどして、町産のすももの魅力を市場関係者にPRしました。

また、銀座にある県のアンテナショップでは、大江町フェアを開催。こちらも大好評となりました。



# 3 ■ウェブを駆使して町の魅力を発信 ～地域おこし協力隊・新隊員着任～

本町の新たな地域おこし協力隊員として、坂口祥太さん（蛍水）が10月から着任することになり、10月2日に委嘱状が手渡されました。坂口さんは本町出身で、東京の広告会社での勤務を経験。前職で得たスキルを生かし、ウェブサイトを活用した情報発信などを通じて、地域おこしの一翼を担うことになります。

坂口さんは「インターネットを通じて、故郷である大江町の素晴らしさを町内外へ向けて積極的にアピールしていきたいです」と意気込みを話していました。





様々な分野で活躍され、表彰された町民の方々を紹介します

第75回東北六県写真師会連合会いわて盛岡大会写真コンテスト  
婚礼写真の部 金賞・ゴールド作家認定



▲婚礼写真の部・金賞受賞作品  
「Happy Wedding」

7月25日から26日にかけて開催された、第75回東北六県写真師会連合会いわて盛岡大会写真コンテストで、菊地邦弘さんの作品「Happy Wedding」が、婚礼写真の部で見事金賞に輝きました。また、今回の受賞で、これまで同会のコンテストで獲得した累計ポイントにより「ゴールド作家」に認定されました。ゴールド作家認定は、現在県内で4人のみという快挙です。



菊地 邦弘さん  
(9区)

菊地さんは「私は各種コンテストで審査員を務めていたので、自分の作品を出品できない期間がありました。それだけに、今回ゴールド作家に認定されたことは大変嬉しいです。今は仕事にも余裕ができたので、今度は還暦を目前に自分の作品を集めた個展を開いてみたいですね」と、受賞の喜びを話していました。

第72回山形県総合美術展 県展賞(彫刻部門)



小林 大輔さん  
(若原)

9月2日から18日にかけて山形美術館で開催された第72回山形県総合美術展(県美展)で、小林大輔さんの作品「A Traveller in Time」が、彫刻部門で最高賞である県展賞を受賞しました。東北芸術工科大学で彫刻を専攻した小林さんは、今回初めて県美展に出展しての最高賞受賞となりました。

今回の受賞作品について「倒れそうで倒れない、非日常的な光景を自分で作り出すことを試みました」と話す小林さん。作品は高さ約170cmの木彫の彫刻で、制作期間は約1年。内部に特殊な工作を施し、斜めに傾きながら倒れないような構造になっています。今後については「仕事をしながらの作品制作は時間的にも難しいものですが、これからも作品を作り続けたいです」と話していました。



◀ 県展賞受賞作品  
「A Traveller in Time」

- 【入選・園児】(大江幼稚園) 大山聡介 (左沢小2年)
- 【入選・小学生】 黒川ひな乃 (伏貫珠生 (本郷東小6年))
- 【わかば保育園】 林蘭 (入選・中学生) 林風花 (大江中1年)
- 鈴木悠音 (大江中2年)
- 【さくら保育園】 公平彩羽 鈴木舞乃
- 渡辺麗雅 (大江中2年)

【奨励賞】

「好きなもの」

庄司沙帆(大江中3年)



県展賞

「おともだちとおよぐとたのしいね」

新宮鳳(さくら保育園)

第59回こども県展(敬称略)

- 【入選】 日本画 「願う」川村秀子(4区)
- 工芸 「桃の実大盆」鴨田圭太(1区)

第72回山形県総合美術展(敬称略)



## 9/2 釣った外来魚はカラッとおいしく

最上川第一漁業協同組合が主催するブラックバス釣り大会が、9月2日に藤田大明神で開催されました。この大会は、外来魚のブラックバスの駆除を兼ねて、初めておこなわれたものです。

ブラックバスなどの外来魚は近年増加し、アユの稚魚などを捕食するため、町内でも漁業に深刻な被害を与えています。「大会をきっかけに、子どもたちに川魚に興味を持ってもらい、漁業の後継者育成につながれば嬉しいです」と話す、組合長の鈴木伸治さん（荻野）。参加者が釣ったバスは、会場から揚げにして振る舞われました。



## 9/6 今日は「くろべえなすの日」!

JAさがえ西村山なす部会からくろべえなす35kgが、9月6日に町内の小中学校と保育園などに贈られました。なす部会ではこの日を「くろべえなすの日」としており、食育のための取り組みのひとつとして、毎年給食用ナスを提供しています。

この日、左沢小学校では給食交流会がおこなわれ、生産者などが2年生の児童とともに「なすの薬味ソース」などの献立を味わいました。なす部会代表の堀実さん（富沢）は「旬の秋ナスをいっぱい食べて、健康な体でがんばって勉強してください」と児童たちに話していました。



## 9/9 地域みんなのチームワーク勝負

見事な秋晴れの空が広がった9月9日、本郷東小学校の秋の恒例行事である連合大運動会が開かれました。運動会では全校児童が赤組と白組に分かれ、徒競走や綱引き、騎馬戦などで競い合いました。また、地域住民の方が参加しての地区ブロック対抗まり入れなどもおこなわれ、地域全体が盛り上がりを見せました。

子どもたちは、それぞれの組頭の「絶対勝つぞ!」という掛け声とともに気合十分で競技に臨み、全校児童が参加する大玉送りや全校リレーでは、チームワークも存分に発揮されていました。



## 9/16 30人の音と心をつなげて

「大江中学校吹奏楽部with左沢小学校プラスバンドクラブ」による定期コンサートが、9月16日にふれあい会館で開催されました。このコンサートは、今年度の大江中吹奏楽部30名の活動の集大成として開かれたもので、今年は「定期コンサート」と名称が変わって2年目となります。

プログラムは3部構成となっており、第1部では吹奏楽コンクールでの演奏曲など、第2部は左沢小学校プラスバンドクラブの演奏、そして第3部はダンスなども交えたポップスステージが披露され、会場は大いに盛り上がりました。





## 9/6 笑う門には健康来たる

高齢になっても健康な生活を送るための「お達者教室」が、9月6日に保健センターでおこなわれました。この教室は町の一般介護予防事業のひとつとして、65歳以上の方を対象に実施しているもので、今年度は6回にわたって開催されます。

第1回目となるこの日は、39名の方が参加。県レクリエーション協会理事長の佐藤眞隆さんによる認知症予防の講話と、手を使った簡単な運動やゲームがおこなわれました。笑うことは有酸素運動にもなるということで、参加者は仲良く談笑しながらレクリエーションを楽しんでいました。



## 10/1 ~15 日本画の色彩に心ひかれて

大江絵画会会長の鈴木信子さん(9区)による日本画の絵画展が、現在中央公民館で開かれています。鈴木さんは教員を退職後に岩絵具の美しさにひかれて日本画を学び、これまで多くの作品を描き上げてこられました。この日本画展では、初期作から新作まで44作品が一堂に集まり、人物画や静物画など多彩な作品が鑑賞できます。

会場には初日から多くの方が訪れ、花に集まるハチやチョウなど、細部に至るまで丁寧な筆致と鮮やかな色彩で描かれた作品に熱心に見入っていました。



## 9/24 スパイシーなランチでピクニック気分

おおえ国際交流協会の主催する「世界の料理教室」が、9月24日に中央公民館で開かれました。この料理教室は、料理を通じてさまざまな国の食文化に触れてもらおうと開催されているもので、今回は家族連れなど20人が参加しました。

この日はイギリスのピクニックランチとして、チキンティッカなど3種類のサンドイッチ作りにチャレンジ。多彩なスパイスを使い、風味豊かなサンドイッチを協力して作りました。料理の後、参加者は近くの公園に移動し、秋晴れの陽射しの下で出来上がったランチを味わいました。



## 9/28 冷静な行動が小さな命を救う

県と町の共催による小児救急講習会が、9月28日に中央公民館でおこなわれました。この講習会は、保護者などに乳幼児の急病時の対応方法を広く知ってもらおうと実施しているものです。

講習会の前半は、消防署大江分署職員を講師に迎えてのAED(自動体外式除細動器)使用法の実習。「小児の場合、呼吸と血流の回復が特に重要」とのアドバイスを受け、参加者は人形を使って心肺蘇生とAEDの使用を実際に体験しました。後半では、河北病院小児科医師の三浦章氏による「こどもの救急」の講演がおこなわれました。

新幹線に乗った。前から2列目で、隣席は空席だった。「彼」の席は1番前で前方は壁だ。発車して間もなく、「彼」は、席の間隔からじーっと私を見ている、ときどきにつこりしながらだ。私も「彼」のにつこりに合わせ、につこりをつくった。ほどなく「彼」はなんと、席の上まで首を伸ばし、につこり合戦を求めてきたではないか。山形までは残り2時間余り、につこりをそう作り続けるわけにもいくまい。目をそらし、外の風景に目をやったが、どうも「彼」の視線が気になって、少々きつい。最初の「彼」のにつこりに反応しなければ……いやいや、もはやあとの祭り、ここはじっと我慢、目を窓に固定した。30分ほどたったので、前方に顔を向けると、今度は手を隙間から出し、片目の顔でにつこりだ。私のにつこりを強力に求めているのは、間違いない。「彼」にとっては、一度あることは三度あり、狭くて窮屈な列車の旅、相棒のやじさんきたさんの関係を、完成させたようなにつこりの連続だ。完全無視しかにつこりを防ぐ手だてはない、防げる圧力は……。列車は我が苦しみを笑うかのようで、いつもより揺れもひどい感じた。

最後のにつこりをにつこり合戦の儀礼として「彼」にプレゼントし、出口の方に逃げるように急いだ。山形駅で下り、私は先頭から5、6番目で改札口を出たあと、感覚が苦痛で消えていたのか、急な「自然の呼び出し」だ。用を済まして、通路に出ると、「彼」がいる。ママに手を引かれズボンの上にオムツパンツの太い白いラインが見え隠れ、今度は手まで振って、につこりしながら「バイバイ」と確かに言った。ウーン、無視、圧力、まあいいか、もてる男は辛いのだ、と自分に言い聞かせた。「外交」は難しい。につこりさん、ありがとう。

大江町長 渡邊 兵吾

## 地域おこし協力隊通信

No.37

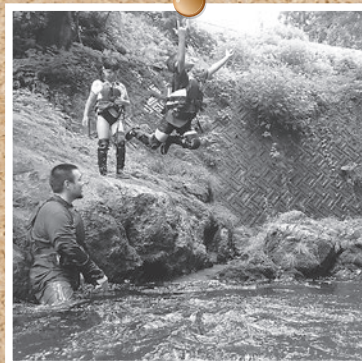


平成27年1月に大江町地域おこし協力隊になってから、まもなく3年。あと数カ月で任期満了です。あっという間だったとも感じますし、本当にいろいろあったな、とも感じます。私的なことで言えば、昨年秋に家族が1人増えました。上の子はもうすぐ4歳。自分でトンボを捕まえられるように。下の子はもうすぐ1歳。歯が生えてきていっぱい食べるようになりました。妻は子育てに奮闘中です。

仕事の面で言えば、やまさあーべをどうにか運営していくためにとにかく必死でした。地域の方々、町役場や県職員の皆さん、「やまさあーべ」のスタッフ……いろいろな人たちの協力のおかげで、たくさんのお客様に大江の自然を楽しんでもらえるようになりました。

最近、よく聞かれることがあります。「任期後は大江に残るの?」と。当然じゃないですか! これからも大江のネイチャーガイドであり続けます。まだやらなければいけないこと、やりたいことがいっぱいあります。何より、ここでの暮らしが楽しいから……。

地域おこし協力隊 佐々木隆馬



▲「やまさあーべ」人気No.1体験プログラム「リポートレッキング」

### 短歌

秋彼岸晴れ渡る空に鳥の声連れの思いに暮参りけり

松田 馥

好物の喉黒魚にメッセージ孫送り来し敬老の日に

佐竹磨砂湖

獅子舞を追ひて終日過したり幼き日々の遠き青空

山家 重之

静寂な朝に歌うは秋の虫我も我もと競うかのごとく

長岡かづ子

日々思う心に残るわだかまり脱ぎて過さん限りある命を

菊地つねよ

里の山またも逢ふたり羚羊と互ひに目と目恋しまなざし

佐竹 興鼓

夏空に入道雲の盛り立つ浴槽のわれ瘦身あわれ

斎藤 徳治

### 俳句

天満祭燈籠整備願榮え

鴨田富士夫

秋の日やアザラシ岩にほおずりし

阿部 一風

仲秋や雲の流れに夕景色

松田 馥

稲妻や魍魎魍魎の世を怒る

今井 茂樹

提灯を眺め歩いて秋祭

山家 重之

際立つは居並ぶ中の秋茄子

熊谷 勉

ひよひひよいと老婦稲子を摘むやうに

舟山 三男

丁寧な風呂敷置む敬老日

伊藤 啓泉

## 吟遊浪漫

ぎんゆうろまん

※このコーナーに掲載ご希望の方は、毎月20日(必着)まで役場総務課に作品をお寄せください。





# Youthful トーク

今年成人式を迎えた安食さんは、現在山形市内の神社に巫女として勤めています。巫女の仕事は多岐にわたり、年間6千件もあるという祈祷で舞を舞うほか、参拝客の接客、結婚式などの際の龍笛の演奏もおこないます。

「七五三、成人、厄払い、結婚など、多くの方の人生の節目に立ち会えるのが嬉しいです。神社に来られた方にすがすがしい気持ちで帰っていただけるように、接し方にも気を配っています」

現在の安食さんの重要なルーツになっているのが、音楽です。小学生の時にフルートを始めて以来、中学、高校と吹奏楽部で演奏を続けてきました。巫女という道を選んだ理由のひとつも、龍笛を奏でるという形で大好きな音楽に関わり続けられると考えたからだそうです。

「巫女は神様に仕える身なので、清楚なイメージがとても強い職業です。誰の目にもキラキラとした姿に映るように、見た目も行動も、理想の『巫女さん』であり続けたいですね」

安食 蛍さん (21歳・7区)

いつまでも理想の姿であり続けたい

シリーズ企画

## 月刊 仲間とエンジョイ!

No.10

町内でスポーツや文化活動などを楽しんでいる皆さんをご紹介します。

### 若葉会・レディース藤田

若葉会代表：藤野 弘美さん (9区)

西田美喜子さん (蛍水)

レディース藤田代表：柏倉 直美さん (藤田)

「若葉会」と「レディース藤田」は、町の家庭婦人バレーボール愛好会に所属する、いわゆる「ママさんバレー」のチームです。2つのチームは、毎週火曜日の夜に体育センターで合同で練習をおこなっており、ウォーミングアップの後は試合形式の練習で汗を流しています。

現在、若葉会は8人、レディース藤田は9人で活動中。12月の町のママさんバレーボール大会にもそれぞれ出場しています。若葉会の藤野さんは「みんなで和気あいあいと楽しみながら活動しています。興味のある方はぜひ仲間に入ってください」と話していました。



▲若葉会とレディース藤田の皆さん



▲体育センターでの練習風景

# お知らせ

## Information

### 町政功労者の内申について

大江町表彰条例に基づき、個人または団体で町の政治、経済、文化、社会、その他各般にわたって町振興に寄与し、または他の模範と認められる方の表彰をおこないます。11月2日(木)まで、各企業および団体などからの内申をお願いします。

※内申方法や表彰要件などの詳細については、お問い合わせください。

☎総務課庶務係 ☎(62)2112

### 廃棄物の不法投棄は犯罪です

10月は「不法投棄および海岸漂着ごみ削減強化月間」です。村山総合支庁環境課では「不法投棄110番」を設け、廃棄物の不法投棄や不正処理の情報を受け付けています。不法投棄などを見かけた場合にはご連絡ください。投棄者名や車両番号を控えていただければ、早期解決につながります。みんなで不法投棄や野焼きを撲滅しましょう。

☎村山総合支庁保健福祉環境部環境課  
 廃棄物対策担当

☎023(621)8427

または総務課危機管理係

☎(62)2187

### おえハロウィンパーティー 2017を開催します

◆日時/10月21日(土)14時~16時

◆場所/中央公民館町民ホール

◆内容/トリックオアトリート!

(お菓子をもらおう)、ハロウィンゲーム、仮装コンテストなど

◆参加費/1人500円(3歳以下、付き添いの保護者の方、または会員は無料)

◆定員/60名程度

◆条件/必ず仮装をしてくること!  
 (亡霊たちの機嫌が悪くなってしまうかも!?)

◆持ち物/お菓子を入れる袋

◆申込締切/10月16日(月)

☎おえ国際交流協会事務局(政策推進課内) ☎(62)2118

### 「日本一くんカフェ」

(認知症カフェ)を開催いたします

町では毎月1回「日本一くんカフェ」(大江町認知症カフェ)を開催しています。認知症のご家族を介護され

## コミュニティ助成事業で整備しました



一般財団法人自治総合センターでは、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上を目的に、宝くじ事業としてさまざまな社会貢献事業をおこなっています。その一つであるコミュニティ助成事業は、集会施設の整備や安全な地域づくりなど地域コミュニティの強化・充実を応援するものです。今年度大江町では、次の地区がこの事業に採択されました。

○第9区  
 公民館の印刷機を整備し、印刷経費の節減を進めました。これにより、毎月発行している区の広報紙をはじめとした各団体の印刷経費が軽減されるとともに、区民に対する周知活動の正常化およびコミュニティ活動の活性化が期待されます。



ている方、認知症に関心のある方、どなたでもお気軽にお茶飲みにいらしてください。

◆日程/10月22日(日)

◆時間/14時~16時

◆会場/中央公民館多目的ルーム

◆内容/家族介護者の体験談、腰痛予防体操、介護相談

☎グループホームあじさい

☎(83)4177

または地域包括支援センター

☎(62)2114

### 「悩みを寄り添う講座」の開催について

◆期日/○第1回「『女だから』

男だから』からの脱却!」10月21日(土)講師:高木直氏(チエリア館長)、○第2回「『機能不全家族』からの脱出!」10月28日(土)講師:森岡由起子氏(大正大学教授)

◆時間/10時~正午

◆会場/山形県男女共同参画センターチエリア(遊学館2階学習室)

◆対象/男女25名(定員になり次第締切)

◆参加費/無料

※無料託児あり(1歳以上未就学児、1週間前まで要予約、先着順)

※県営駐車場利用の場合、駐車料金が無料になります。

※どちらかだけでも参加できます。

※どちらかだけでも参加できます。



**森の食堂 「七軒物語」 in やまさあーべ**

**開店 します!**



※写真はイメージです。

遊んで、食べて、泊まれる学校「やまさあーべ」で、地域の方々による1カ月限定の食堂をオープンします。ぜひ、ご来店ください。


- ◆営業日/11月3日(金)~5日(日)、17日(金)~19日(日)、24日(金)~26日(日)
- ※日曜日は終日軽食のみ
- ◆時間/11時~16時
- ◆場所/山里交流館「やまさあーべ」
- ◆メニュー/金・土曜日:定食、デザート、飲み物  
日曜日:軽食、デザート、飲み物
- ◆食堂運営:七軒地区の有志(代表:野木桃子)
- ※事前予約を受け付けます。予約はやまさあーべ ☎(64)2507まで
- ☎政策推進課総合戦略推進係 ☎(62)2118

**おまへの 物産味覚まつり** **開催!**

今年も町内の物産・秋の味覚が一堂に会します。町内各団体や飲食店など出店多数!

楽しい企画もたくさんありますので、ぜひご家族そろってお越しください!


- ◆日時/11月12日(日)9時半~14時半
- ◆場所/中央公民館
- ※会場が昨年と異なります。
- ◆主なイベント/お楽しみ抽選会、りんご・ラフランスのプレゼント、餅まき、はたらく車、ゆるキャラとふれ合おう!、かるた取り大会、ミニライブなど
- ※中央公民館と体育センターの駐車場は大変混み合いますので、駅前臨時駐車場と役場駐車場から随時運行する無料シャトルバスをご利用ください。
- ☎JAさがえ西村山大江営農生活センター ☎(62)3217 または 政策推進課起業推進係 ☎(62)2139



**通行規制のお知らせ**

藤田工業団地造成に伴う流末排水路整備工事に係る通行規制をおこないます。

- ◆路線名/町道左沢小見線および町道左南西原線
- ◆場所/藤田・小見地内
- ◆期間/12月15日まで
- ◆規制内容/8時半から17時までの間、片側交互通行
- ☎政策推進課起業推進係 ☎(62)2139




収穫期に入り農作業も忙しくなっていることにもない、町内でも農作業中の事故が発生しています。慣れた作業にも細心の注意を払うことはもちろん、みんなの知恵とちよつとした工夫で農作業事故は未然に防ぐことができます。

みんなで声を掛け合い、事故防止に努めましょう!

☎山形県男女共同参画センターチェリア ☎023(629)7751

**農作業中の事故に注意! 慣れた作業も油断大敵!**

**編集 後記**



17時ごろになって、ようやく待ち望んでいた晴れ間が! 雲の切れ目からわずかにのぞいた光を頼りに、急いでカメラを回して撮影開始。しかしながらラストカット直前で日没となり、万事休す。撮影は別に持ち越しに。「もつと光を!」……きつと、かの文豪よりも切実にそう願った1日は、こうして幕を閉じたのでした。

(伊藤智治)

今年の「山形ふるさとCM大賞」に向けたCM制作は、シナリオ、出演者、構成と順調に決定していきました。映像の色味を統一するためにも撮影は1日で完了させなければと、満を持して臨んだ本撮影の日。準備は万端、見上げれば抜けるような青空。あとは太陽が西に傾くのを待つばかり……のはずが、15時ごろになると、南西から続々と不気味な黒雲が。そしていよいよ撮影開始となった途端、ついに天からは大粒の雨が落ちてきました。慌てて屋内に避難する出演者とスタッフ一同。スマホの雨雲レーダーと窓の外空、さらに壁の時計へと代わる代わる目をやりながら、晴れ間が差す瞬間をひたすら待ち続けます。

☎農林課農政係 ☎(62)2115

- 危険な場所にボール等の目印を!
- 携帯電話を持ち歩きましょう!
- 機械作業中断時はエンジン停止!
- ちよつとだけだから……は危険!

# 思い出の No.24 まいぞうひん My藏品

皆さんの心に残る思い出の品を、それにまつわるエピソードとともにご紹介します。



▲全国大会で獲得した銅メダルと、菊地さん愛用のラケット  
 ▲教え子の子どもたちとラリーをする菊地さん。「言葉で伝えるのは難しいので、私が卓球をする姿を見て子どもたちが何かを感じとってくれば」と話していました

平成12年に開催された全日本クラブ卓球選手権大会で、大江卓球ジュニアクラブが中学生以下の部の団体戦第3位に入賞した時の銅メダルと、私が使用している卓球ラケットです。当時小学3年生だった私は、補欠として試合を見ている立場でしたが、全国の強豪を相手に先輩たちが繰り広げるハイレベルな試合を間近で見たことで、「これから自分も卓球を頑張っていこう」と強く思いました。その後、中学、高校、大学とずっと卓球を続けてきました。そして今は、大江卓球クラブジュニアと大江中学校卓球部で、コーチとして子どもたちを指導する立場になっています。試合に勝つことももちろん大事なのですが、まずは卓球の楽しさを伝えていきたいと思っています。一人でも多くの子どもたちが、私のように大人になってもずっと卓球を続けたいと思ってくれたらいいですね。  
 (深沢 菊地勇心)

★皆さんの思い出の詰まった「宝物」はありませんか？  
 懐かしい写真、長年愛用している道具、旅先で購入した記念の品など、なんでも結構です。  
 総務課情報システム係 ☎(62)2187まで、ぜひお知らせください。

## 戸籍のまど

8月21日～9月20日受付分

### お誕生おめでとう

区名	氏名	性別	父母名
美郷	阿部 凱	男	裕也・雪
2区	富樫 乃愛	女	明博・祥子

### ご結婚おめでとう

区名・出身地名	氏名
(伏熊)	佐藤 秀征
(大石田町)	高橋 茜
(13区)	蓮沼 徹
(埼玉県)	関口 亮子
(6区)	庄司 直樹
(寒河江市)	狩野 友香

### ご冥福を祈ります

区名	氏名	年齢
9区	鈴木レイ子	(77)
藤田	渡邊 昭三	(80)
4区	奈良崎泰子	(79)
藤田	尾形さだ子	(86)
堂屋敷	大泉 敬司	(84)
9区	岡田 信幸	(74)



### 人口と世帯(前月比)

町の人口 8,467人(-4)  
 男 4,195人(-3)  
 女 4,272人(-1)  
 世帯数 2,946戸(±0)

平成29年10月1日現在

※掲載を希望しない場合は、届け出の際にお申し出ください。